

## 指導のポイント

- 児童が資料を理解したり、内容を深く受け止めたりする手助けとなるような方法を工夫します。
- 1回の読み聞かせで資料の内容を理解させる必要があります。そのため、事前に主人公等の置かれている場面や状況等の説明と、読み聞かせを聞く観点の指示をしておくとう効果的です。

## 具体的事例

◎ 資料の役割は・・・

- ・ 児童が、道徳的価値の自覚や自己の生き方についての考えを深める手がかり
- ・ 児童同士、児童と教師が共に学び合う共通の素材

### 教師の読み聞かせ

一般的に行われる資料提示の方法です。

- ・ 児童に分かるようにゆっくり読み聞かせましょう。
- ・ 難解な言葉やポイントとなる言葉などにはコメントをつける、繰り返し読む、強調して読むなどすると児童が理解しやすくなります。



Point

- 児童は、1回の読み聞かせで資料を理解しなければなりません。読み聞かせる前に、あらかじめ以下のことを示しておくことも児童の理解の手助けとなります。

- ア 登場人物のだれについて考えるのか
- イ 主人公のおかれている条件や場面の状況、登場人物などの説明
- ウ 読み聞かせを聞く観点  
(例)・主人公の気持ちを考えよう。
  - ・主人公の行為から何を学ぶことができるだろう。
  - ・自分だったらどうするか考えてみよう。
  - ・主人公をどう思うか。

- 読み聞かせの際に、例えば紙芝居のように提示したり、影絵、人形やペープサート等を生かして劇のように提示したり、音声や音楽の効果を生かした工夫などをして、児童の理解の手助けをします。

### ペープサートや紙芝居の活用



表面だけでなく裏面にも気を配りましょう。



ペープサートや人形、影絵などを生かして劇のように提示したり、紙芝居のように提示したりすることは、特に低学年などの理解の手助けとなります。

### 音声や音楽の活用

児童の思考を妨げないように音の大きさに配慮しましょう。

資料を読み聞かせるとき、効果音やBGMを活用すると雰囲気が大きく盛り上がります。

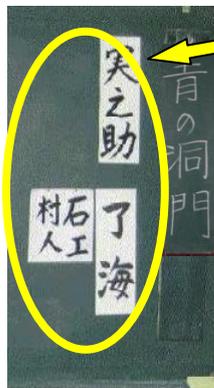
### VTRやDVD、プレゼンテーション資料の活用

児童が臨場感をもって理解することができます。

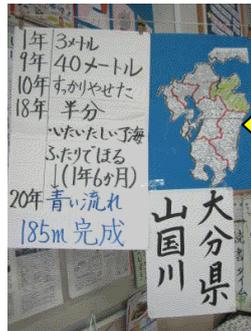
児童の実態に応じて繰り返し、あるいは部分的に見せることで資料の内容を深く児童に受け止めさせることができます。

## ○ 主人公や条件・状況の揭示

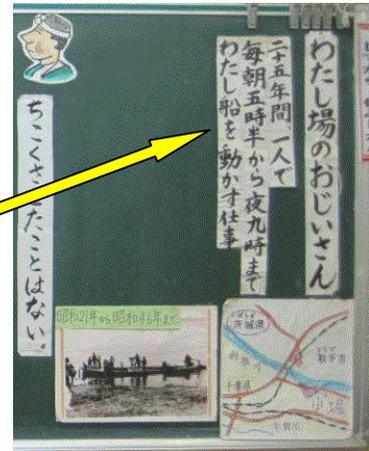
読み聞かせの前に、主人公や登場人物、条件や状況などを板書に整理しておくことで、共通理解を図ることができます。



主人公と登場人物の提示



条件や状況の整理



資料が実話の場合、地図や写真を活用すると、資料に対する興味が高まります。



## 留意点

- クラスの誰もが、内容を臨場感をもつて理解することができ、主人公の考え方や生き方などに共感できるようにするなど、資料の特性を生かす資料提示が大切です。
- 多くの情報を提示することが、必ずしも効果的であるとは言えません。提示する内容を吟味した上で選り抜かれた情報を提示することが効果的な場合もあります。